



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス
コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文

TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	45,164	3.7	17,707	13.4	17,904	11.8	10,606	17.0
22年3月期第3四半期	43,572	△15.9	15,615	△12.3	16,016	△9.5	9,064	△4.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	361.78	361.58
22年3月期第3四半期	297.10	297.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	134,920	118,606	87.7	4,084.01
22年3月期	142,164	118,390	83.1	3,970.03

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 118,270百万円 22年3月期 118,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	72.50	—	95.50	168.00
23年3月期	—	91.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	102.00	193.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	1.9	24,100	9.8	24,300	7.9	14,100	10.9	482.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 31,325,000株 22年3月期 32,695,982株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,365,501株 22年3月期 2,936,474株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 29,318,238株 22年3月期3Q 30,510,798株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

わが国の自動車流通市場は、平成21年4月より政府の経済対策として実施されたエコカー補助金制度（以下「補助金制度」といいます。）が、平成22年9月まで延長されたことにより、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数は3,456千台（前年同期比2.2%増）となりましたが、補助金制度の終了後の当第3四半期連結会計期間については、915千台（前年同期比24.0%減）と大幅に減少しました。

一方、中古車流通市場につきましては、補助金制度の実施により新車と中古車の価格差が縮小し、中古車小売が不振であったことや、補助金制度終了後は、新車販売不振の影響を受け中古車の新規発生台数が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の中古車登録台数は4,688千台（前年同期比0.0%減）とほぼ横ばいになりました。

（台数は（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

このような経営環境のなか、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間の売上高は45,164百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は17,707百万円（前年同期比13.4%増）、経常利益は17,904百万円（前年同期比11.8%増）となり、四半期純利益は10,606百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

オートオークション

オートオークション事業は、出品台数1,595千台（前年同期比6.9%減）、成約台数1,002千台（前年同期比2.7%増）、成約率62.8%（前年同期実績57.0%）となりました。

当第3四半期連結累計期間は、出品台数が伸び悩んだものの、成約率が高水準で推移したことや、手数料単価の上昇などによりオークションにおける手数料収入は増加しました。また、減価償却費やのれん償却額の減少などにより、前年同期と比較して大幅な増益を確保することができました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高32,011百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益17,044百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、出張査定の拡充など営業体制の強化に取り組みました。当第3四半期連結累計期間につきましては、台当たりの車両販売価格が下落したこともあり売上高は減少しましたが、台当たり粗利益が増加したことに加え、営業経費を見直したことなどから大幅な増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、買取台数が増加したことから売上高は増加しましたが、営業経費の増加などにより僅かに減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高9,027百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益463百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

その他

株式会社アビジは、廃自動車等の取扱量が増加し設備の稼働率が高まったことや、鉄スクラップ等の資源相場も堅調に推移したことなどから、増収増益となりました。

株式会社U S S 東洋は、高付加価値製品である弾性舗装用ゴム製品の取扱量が増加し、増収増益となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高4,124百万円（前年同期比33.2%増）、営業利益111百万円（前年同期比315.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は134,920百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,243百万円減少しました。これは、現金及び預金が3,364百万円減少したことや、オークション貸勘定が3,292百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は16,313百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,459百万円減少しました。これは、オークション借勘定が4,106百万円減少したことや、未払法人税等が1,845百万円減少したこと、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が1,585百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は118,606百万円となり、前連結会計年度末と比較して215百万円増加しました。これは、自己株式を4,950百万円取得したのに対し、利益剰余金が5,088百万円増加したことなどによるものであります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018百万円減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4,064百万円減少し、25,616百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10,312百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益17,365百万円（前年同期比9.6%増）、減価償却費及びその他の償却費3,485百万円（前年同期比17.3%減）、法人税等の支払額9,088百万円（前年同期比10.5%増）などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は3,464百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,292百万円（前年同期比132.4%増）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は10,913百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出4,950百万円（前年同期比98.3%増）、配当金の支払額5,518百万円（前年同期比16.4%増）などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の中古車流通市場は、引き続き良質な中古車の品薄状態が続くと予想され、オートオークション事業についても、出品台数は伸び悩むものの、成約率は高水準で推移するものと思われまます。これらの状況を踏まえた上で、当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成22年11月9日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ16,707千円減少し、税金等調整前四半期純利益は533,101千円減少しております。また、当会計基準等の適用による資産除去債務の計上額は769,999千円であります。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,316,911	29,681,673
オークション貸勘定	2,351,601	5,643,946
受取手形及び売掛金	2,167,172	2,885,270
たな卸資産	910,800	841,841
その他	2,090,681	1,254,733
貸倒引当金	△77,601	△84,868
流動資産合計	33,759,564	40,222,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,428,156	35,019,978
土地	53,883,451	52,812,529
建設仮勘定	867,255	13,232
その他(純額)	3,531,901	4,358,813
有形固定資産合計	91,710,765	92,204,553
無形固定資産		
のれん	131,763	357,185
その他	1,071,311	1,140,884
無形固定資産合計	1,203,075	1,498,069
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,352,117	8,341,133
貸倒引当金	△105,291	△102,284
投資その他の資産合計	8,246,825	8,238,849
固定資産合計	101,160,667	101,941,472
資産合計	134,920,231	142,164,069
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	2,347,393	6,454,150
支払手形及び買掛金	480,676	577,341
短期借入金	299,920	399,920
未払法人税等	2,509,296	4,354,300
引当金	238,748	445,816
その他	3,617,934	5,203,830
流動負債合計	9,493,969	17,435,359
固定負債		
長期借入金	206,220	356,160
引当金	124,838	91,787
資産除去債務	703,141	—
その他	5,785,417	5,889,860
固定負債合計	6,819,616	6,337,807
負債合計	16,313,586	23,773,167

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881,312	18,881,312
資本剰余金	18,973,823	27,992,143
利益剰余金	100,656,289	95,567,831
自己株式	△15,315,057	△19,382,433
株主資本合計	123,196,367	123,058,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,772	59,531
土地再評価差額金	△4,972,243	△4,972,243
評価・換算差額等合計	△4,925,471	△4,912,712
新株予約権	30,755	18,206
少数株主持分	304,993	226,555
純資産合計	118,606,645	118,390,902
負債純資産合計	134,920,231	142,164,069

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	43,572,664	45,164,133
売上原価	19,911,660	19,881,071
売上総利益	23,661,004	25,283,062
販売費及び一般管理費	8,045,153	7,575,987
営業利益	15,615,850	17,707,075
営業外収益		
受取利息	23,350	24,145
不動産賃貸料	117,958	111,657
複合金融商品評価益	186,850	—
雑収入	102,916	120,761
営業外収益合計	431,075	256,564
営業外費用		
支払利息	11,525	6,396
不動産賃貸原価	11,459	11,026
複合金融商品評価損	—	33,550
雑損失	7,237	8,163
営業外費用合計	30,222	59,136
経常利益	16,016,703	17,904,502
特別利益		
固定資産売却益	32,497	12,531
貸倒引当金戻入額	34,928	46,283
その他	1,014	5,303
特別利益合計	68,440	64,118
特別損失		
固定資産売却損	8,809	9
固定資産除却損	43,730	29,006
投資有価証券評価損	168,109	56,707
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
その他	26,795	627
特別損失合計	247,445	602,744
税金等調整前四半期純利益	15,837,698	17,365,876
法人税等	6,769,244	6,680,683
少数株主損益調整前四半期純利益	—	10,685,193
少数株主利益	3,575	78,437
四半期純利益	9,064,878	10,606,755

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	14,857,344	14,741,118
売上原価	6,621,908	6,598,047
売上総利益	8,235,436	8,143,070
販売費及び一般管理費	2,652,935	2,496,193
営業利益	5,582,501	5,646,877
営業外収益		
受取利息	1,395	2,668
不動産賃貸料	38,547	34,551
複合金融商品評価益	20,900	66,650
雑収入	23,680	35,412
営業外収益合計	84,523	139,282
営業外費用		
支払利息	2,729	1,940
不動産賃貸原価	3,818	3,626
雑損失	5,171	2,769
営業外費用合計	11,719	8,337
経常利益	5,655,305	5,777,822
特別利益		
固定資産売却益	23,089	2,620
貸倒引当金戻入額	26,205	33,159
その他	800	500
特別利益合計	50,095	36,279
特別損失		
固定資産売却損	113	—
固定資産除却損	19,295	11,306
賃貸借契約解約損	12,400	—
その他	1,843	—
特別損失合計	33,652	11,306
税金等調整前四半期純利益	5,671,748	5,802,795
法人税等	2,386,756	1,938,446
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,864,348
少数株主利益	22,531	1,627
四半期純利益	3,262,460	3,862,721

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,837,698	17,365,876
減価償却費及びその他の償却費	4,216,662	3,485,136
のれん償却額	596,954	225,421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71,660	△4,274
賞与引当金の増減額(△は減少)	△315,566	△207,067
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△43,868	33,051
受取利息及び受取配当金	△27,079	△27,140
支払利息	11,525	6,396
投資有価証券評価損益(△は益)	168,109	56,707
複合金融商品評価損益(△は益)	△186,850	33,550
有形固定資産除売却損益(△は益)	△3,762	5,223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
オークション勘定の増減額(△は増加)	△96,111	△814,411
売上債権の増減額(△は増加)	629,814	769,037
仕入債務の増減額(△は減少)	△110,999	△97,436
預り金の増減額(△は減少)	△927,690	△1,133,983
その他	311,181	△831,212
小計	19,988,359	19,381,267
利息及び配当金の受取額	26,057	26,108
利息の支払額	△9,779	△6,086
法人税等の支払額	△8,222,448	△9,088,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,782,189	10,312,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△350,000	△700,000
有形固定資産の取得による支出	△986,500	△2,292,569
有形固定資産の売却による収入	137,440	17,164
無形固定資産の取得による支出	△167,563	△277,677
投資有価証券の取得による支出	△150,000	—
長期前払費用の取得による支出	△29,086	△215,742
子会社株式の取得による支出	△59,700	—
その他	△15,908	4,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,621,318	△3,464,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△455,440	△149,940
預り保証金の預りによる収入	166,349	158,801
預り保証金の返還による支出	△89,295	△57,373
自己株式の取得による支出	△2,496,877	△4,950,943
配当金の支払額	△4,741,495	△5,518,297
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△226,830	△295,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,143,590	△10,913,117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,017,280	△4,064,762
現金及び現金同等物の期首残高	18,445,871	29,681,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,463,152	25,616,911

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

(単位：千円)

	オートオーク ション事業	中古自動車等 買取販売事業	その他の事業	計	消去または 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対す る売上高	31,333,582	9,142,464	3,096,617	43,572,664	—	43,572,664
(2) セグメント間の 内部売上高または 振替高	311,725	285	1,832	313,843	△313,843	—
計	31,645,307	9,142,750	3,098,450	43,886,508	△313,843	43,572,664
営業利益	14,996,846	350,937	26,788	15,374,571	241,279	15,615,850

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

(単位：千円)

	オートオーク ション事業	中古自動車等 買取販売事業	その他の事業	計	消去または 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対す る売上高	10,822,561	2,855,320	1,179,463	14,857,344	—	14,857,344
(2) セグメント間の 内部売上高または 振替高	87,631	285	747	88,665	△88,665	—
計	10,910,192	2,855,606	1,180,211	14,946,009	△88,665	14,857,344
営業利益	5,398,528	53,153	49,293	5,500,974	81,526	5,582,501

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間および前第3四半期連結会計期間において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間および前第3四半期連結会計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）および当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、オートオークション運営およびオークションに係る各種サービスの提供、中古自動車等の買取販売、リサイクル事業などを展開しており、事業内容ごとに戦略を立案し、事業を行っております。

したがって、当社は、事業内容等を基礎としてセグメントを構成しており、「オートオークション」、「中古自動車等買取販売」の2つを報告セグメントとしております。

「オートオークション」は中古車取扱事業者を会員とするオートオークションの運営、通信衛星回線およびインターネット回線によるオートオークション接続サービス、中古自動車情報サービスの提供、オートオークション専用端末の販売、オートオークションの出品車・落札車の運搬および引廻し、オートオークション会員向け金融サービスの提供を主な事業としております。

「中古自動車等買取販売」は中古自動車および事故現状車の買取販売を主な事業としております。

② 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオーク ション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,011,936	9,027,814	41,039,750	4,124,382	45,164,133	—	45,164,133
セグメント間の内部売上高または振替高	296,279	791	297,071	1,672	298,744	△298,744	—
計	32,308,215	9,028,605	41,336,821	4,126,055	45,462,877	△298,744	45,164,133
セグメント利益	17,044,481	463,187	17,507,668	111,351	17,619,019	88,055	17,707,075

当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオーク ション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,373,023	2,990,084	13,363,108	1,378,010	14,741,118	—	14,741,118
セグメント間の内部売上高または振替高	84,706	380	85,086	659	85,745	△85,745	—
計	10,457,729	2,990,464	13,448,194	1,378,669	14,826,863	△85,745	14,741,118
セグメント利益	5,505,012	108,767	5,613,780	4,341	5,618,122	28,754	5,646,877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビジの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業であります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	当第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結会計期間
セグメント間取引消去	86,042	28,084
のれんの償却額	2,012	670
合計	88,055	28,754

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 自己株式の取得

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式350,000株を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,147,386千円増加しております。

また、当社は平成22年10月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社U S S 関東を吸収合併いたしました。この合併に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求があり、普通株式450,000株を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,803,500千円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を消却することを決議し、平成22年5月31日付で普通株式1,370,982株の消却を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018,319千円減少しております。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	435	451	3.7	610
営業利益	156	177	13.4	241
経常利益	160	179	11.8	243
当期純利益	90	106	17.0	141

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	83	80	△3.1	112
成約手数料	74	77	4.1	106
落札手数料	99	103	4.6	142
商品売上高	5	7	40.2	8
その他の営業収入	51	50	△0.5	67
オートオークション計	313	320	2.2	436
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	62	60	△2.6	80
事故現状車買取販売	29	29	1.7	39
中古自動車等買取販売計	91	90	△1.3	119
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	24	33	38.2	41
廃ゴムのリサイクル	6	7	14.4	11
その他計	30	41	33.2	53
合計	435	451	3.7	610

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	11	25	122.7	87
完工ベース	7	16	106.9	87
減価償却費	41	33	△18.1	45

(注) 従来、設備投資額の対象を有形固定資産のみとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より無形固定資産を対象に加えております。また、前年同期実績および通期予想につきましても当第3四半期連結累計期間と同一の方法による表示へ変更しております。